

I - 4 計画課題の整理

2) 季節の魅力資源(植栽・イベント)

本庭園にある魅力資源のうち、開花や新緑、紅葉など季節によってより大きな魅力を発揮している植栽と定期的に行われているイベントを抽出した。
 植栽による魅力資源は、主に吉城川から北側に位置しており、場所毎に群植された花木群として楽しめる構成となっている。

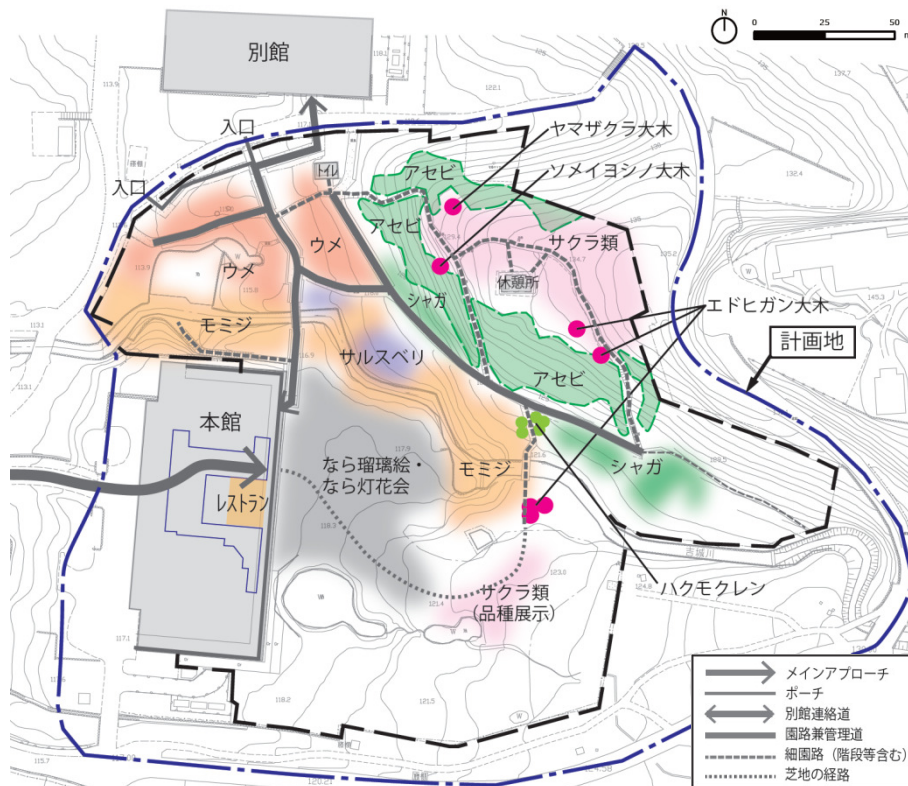
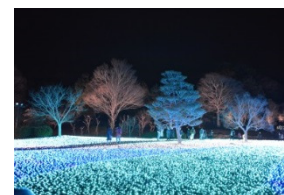


図: 季節の魅力資源(植栽・イベント)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
サザンカ												
ウメ												
ヤブツバキ												
アセビ												
ハクモクレン												
サクラ類												
モミジ・ケヤキ等(新緑)												
シャガ												
サルスベリ												
モミジ・ケヤキ等(紅葉)												
若草山焼き												
なら瑠璃絵												
なら灯花会												

※若草山山焼きは、本庭園が観覧場所となることから掲載。
 ※なら瑠璃絵は2010年から、なら灯花会は1999年から毎年実施されているおり、なら瑠璃絵は本庭園の芝地を演出空間として利用している。

表: 植栽の見頃とイベント開催時期



「なら瑠璃絵」 国際フォーラム庭園



「なら灯花会」 春日野園地



同左 国際フォーラム庭園

I -1 計画地の特性



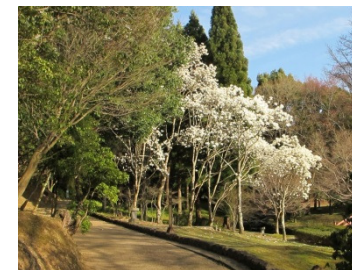
ウメ 2月～3月



同左



ハクモクレン 3月



同左



アセビ



同左



尾根上のサクラ類 4月～5月



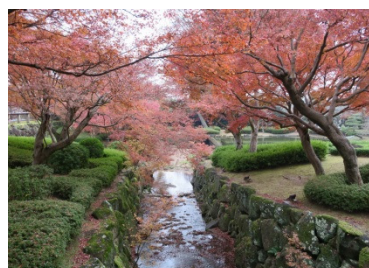
同左



太鼓橋南側 サクラ類 4月～5月



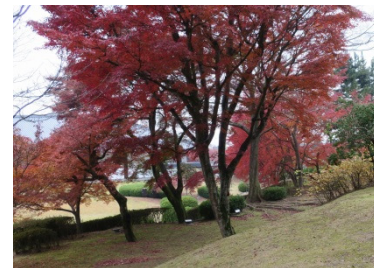
同左



吉城川のイロハモミジ 11月～12月



同左



同左



北側境界柵のサザンカ 12月

I - 1 計画地の特性

3)園路・経路の構成

①基本的な利用経路

本庭園の利用者は、ホール等の施設利用者と一般来園者があり、入口も本館経由と北側入口経由の2つがあるが、基本的な経路は下図のとおりと考えられる。



図: 基本的な利用経路

②利用経路と魅力資源

利用経路と魅力資源の関係は、下図のとおりである。

庭園の最初の景は本館前から若草山への眺望を含めた主景であり、ほぼ全ての利用者が体験できる。この景に続く経路では、各所の眺望や季節に応じて楽しむ植栽の景を選択的に楽しんでいる。

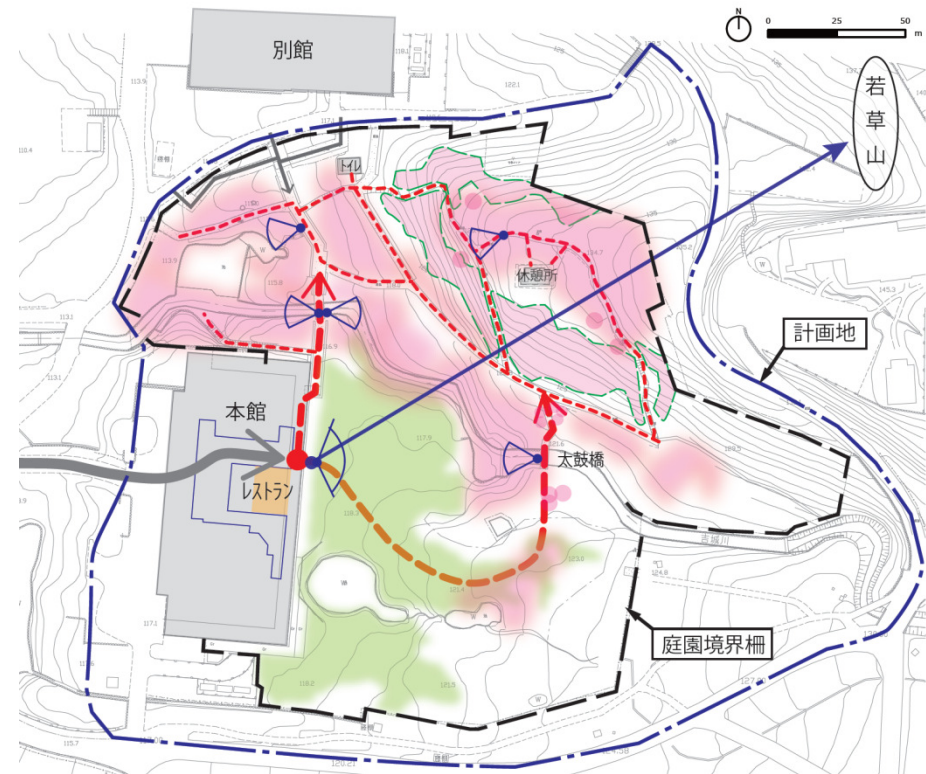
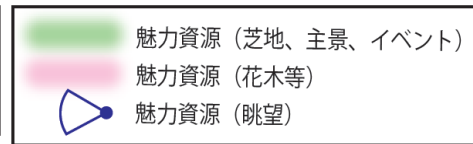


図: 利用経路と魅力資源

※庭園は施設の一部として管理運営されており、施設の休日である月曜日と庭園の貸切利用日は、一般利用者は入園できない。



I - 1 計画地の特性

③利用経路と景観展開

利用経路に沿った景観展開は、以下のとおりである。

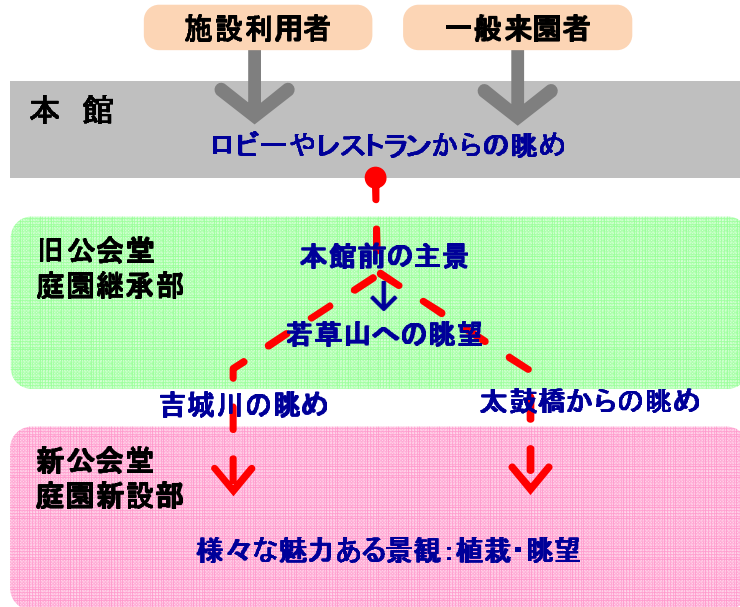


図: 利用経路と景観展開



ロビーからの眺め



本館前の主景



若草山への眺望
(整備後イメージ)



吉城川の眺め



太鼓橋からの眺め

I - 1 計画地の特性

③園路等に関する課題

- ・本庭園の園路等には、利用上の課題、歩行性の課題、老朽等の課題がある。庭園利用を促進するためには、これらの課題の解消が不可欠である。
- ・車椅子利用などのバリアフリー対策については、現状で法的には問題ないが、庭園の資源や魅力を損なわない範囲で取り組む必要がある。

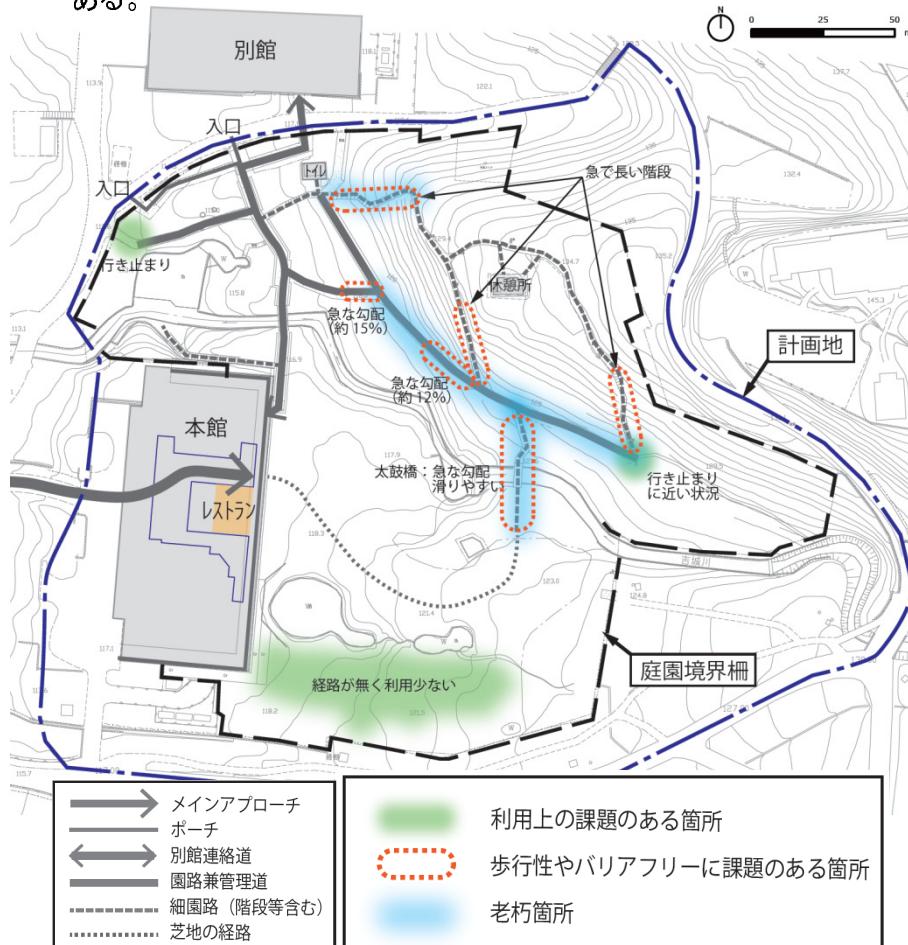


図: 園路等の課題

バリアフリー対策の考え方

- ・本計画地内でバリアフリー法の施設基準を満たすべき園路等は、本館及び別館への経路となる園路と考えられる。現在この経路の動線は法に定められる基準を満たしている。
- ・その他の園路等は基準を満足していない区間が多いことから、庭園の積極的な活用を促進するために、庭園の文化的価値を損なわない範囲でバリアフリー基準を満たすことが望ましい。



写真: 急で長い階段(北)

同左(中)

同左(南)



写真: 太鼓橋附近

尾根上部園路

老朽化した尾根裾園路と照明



写真: トイレ棟附近



写真: 休憩所棟附近